

2008年(平成20年)11月18日(火曜日)

中 一 乗合 居



新酒の出荷スタート

古川の2酒蔵 杉玉を飾る

飛騨市古川町壱之町を告げる杉玉(酒林)の蒲酒造場と渡辺酒造店で十七日、酒蔵に新酒が出来上がったこと

飛騨市古川町壱之町を告げる杉玉(酒林)の取り換え作業があり、初搾りした今季の酒の出荷が始まった。杉玉は、杉の葉を集め直徑八十㌢、重さ約七十キロほどにした球

井上市長は「市民がテレビからの情報を得られるよう、デジタルへの切り替え周知を図りたい」と述べた。

式典の後、同協議会

は二〇一年七月の地デジ完全移行に向けて地元の老人クラブなどを対象に講習会を開いた。

(古池康司)

状の飾り。青々とした葉が徐々に茶色に変わらる様子が、酒の味の変化を知らせる。

渡辺酒造店では、神事を行った後に、法被姿の蔵人らが店舗の軒下にある古い杉玉を取り外し、緑色の新しい玉を取り付けた。



青々とした杉玉を取り付ける杜氏ら=飛騨市古川町壱之町で

フルーティーで味わい深い仕上がりになつた」と話している。酒造務は「今季もここまで続く」という。

(古池康司)